
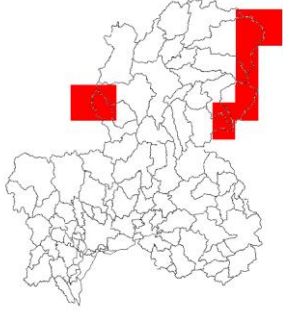


リンネソウ	<i>Linnaea borealis</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		スイカズラ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 
形態の特徴	花茎は直立するが、高さは10cmに満たない。葉は小さく、葉身は卵円形で長さ4-10mm、葉柄は2-3mm。花冠の長さ7-9mm。	
生態的特徴	花期は7-8月。	
分布状況	周北極の亜寒帯に広く分布する。日本では本州の中部から北と北海道に生じる。岐阜県では県北の長野県境付近の標高1600-1800mに見られる。	
減少要因	生育環境の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		
		

文責: 高橋弘